

## あとがき

地域デザインフォーラム第1期から第3期までの6年間を通じ、当分科会では産業振興という同一テーマを掲げて共同研究を進めてきた。その間、わが国やその周辺諸国の経済環境は大きく変化した。

長引く不況下で、板橋区内の産業界は難局への対応に苦慮し続けていた。事業所数の減少、廃業数の増加、売上の減少など地域経済は元気を失う厳しい状況にあった。そのようなことから、地域社会にとって、産業振興は重要な課題のひとつと考えられた。現状の正確な分析と地域に適した有効な対策を研究する努力が重ねられた。そして、それらにもとづき地域社会を効果的に活性化する方法、手順、そこに含まれる問題点、可能性等が検討された。

産業振興の根本目的は地域社会を活性化することにある。それには地域の住民、企業が健康で元気なことが必要である。仕事の増加が雇用を生み出し地域の経済状態を改善する。元気を生み出す源泉はそこにある。それには、地域の企業が活発に活動し健全な企業が多数創設される地域基盤が整備されなければならない。地域の住民、企業、自治体がそれぞれの立場で地域の資源を活かす努力、工夫を着実に積み重ね、その連鎖を繋いでゆくことが地域社会活性化の基礎となる。大学や自治体は効果的に相互連携すれば地域活性化の重要な基盤になる可能性を秘めている。

地方分権の進行は、各地域社会が独自に地域の問題、課題に取り組まなければならない場面を確実に増やす。それは今後一層加速的に増加することがかなりの確度で予測される。地域社会の一員として私たちの共同研究の成果のいくらかがその取り組みと展開のための基礎を構築する一部分にでもなればと願うばかりである。そのとき、この共同研究に携わった一員として細やかな歓びを感じることができるに違いない。